

里や山や海、自然とともにたたく人々の間で育まれてきた民謡・しごと唄。人々の暮らしが変化するにつれ、しごと唄も少しずつ唄われなくなり忘れられていきました。

農村に生まれ育った私は“田植え唄”を初めて聞いたとき、なんだかとてもワクワクしました。唄の中には、私たち農に関わる人間が生活しているリズムや価値がぎゅっ！と詰まっているようで、唄が農民の根っこ部分を光で照らしてくれているように感じた。

しごと唄を、唄の本来の活躍場所である農村に持って帰ってみたい！農村で、唄が生まれた時代と同じ風景をみんなで再現して味わってみたい。…そんな思いで「田んぼでしごと唄をうたいませんか？」と、私にしごと唄の存在を教えてくださいました太鼓唄 七海さんをお誘いし、このたびワークショップが実現する運びとなりました。先行き不安な問題を多々抱えた中山間地域の小さな農村に、唄はなにか新たな風を運んでくれそうな予感がしています。

本ワークショップでは、断片的に残っている唄を手がかりに、昔ながらの農作業と唄を再現します。その手作業の農や農村で過ごす体験をベースに、唄と笛、太鼓などの楽器を交えて、季節に応じたしごと唄の“作品”をみんなで創りあげてみます。それぞれの人が田んぼや農村に向き合ってきた感覚、そこからどんなリズムや想いが立ち上がってくるのかを、ご一緒する皆さんとともに味わう、実験的な農体験&創作ワークショップです。

唄がどこから生まれてくるのだろうか？と考えると、人の営みそのもの、ではないかと思えます。そうだとしたら、それぞれの立場や環境、年齢が異なっても、同じ人同士、唄をつうじて共有できるものがあるでしょう。唄とはなにか、農とはなにか、人のくらしとはなにか、そんな根っこ部分の問いをゆるやかに共有し、これからの私たちの生き方をみつめるきっかけになることを願っています。唄と、農村と、ひととせんと、それらの関わり合いに関心を持たれる様々な人たちと、農村でのひとときを共に過ごすことを心より楽しみにお待ちしております。

環境教育事務所 Lino works 代表*仲上美和

◇ 農村にしごと唄 ワークショップ 全3回 ◇

◇ お申込み ◇

E-mailにてお申込みください。(E-mailご利用でない場合は、お電話にてお問い合わせください。)

メールの件名を「農村にしごと唄WS (あなたのお名前)」とし、下記1～10の項目をお送りください。

1. お名前
2. ご住所
3. 電話番号
4. Eメールアドレス
5. 性別
6. 参加時点での年齢 (保険加入用)
7. ご希望の移動手段
(神戸三宮・新神戸駅までの公共交通機関、または自家用車)
8. ご職業など、普段されていることは？
9. このWSを何で (どなたから) お知りになりましたか？
10. 参加に際して一言どうぞ！

E-mailでお申込みいただいた後、申込受理の旨の返信をいたします。返信のない場合はメール不着のおそれがありますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

秋の回…2015年10月1日 (木) 締切

冬の回…2016年1月28日 (木) 締切

* 先着順にて参加受付します。

* 早割特典あり！各回開催1ヶ月前までにお申込の場合、2000円/人 割引します。

◇ お問い合わせ・お申込み先 ◇

環境教育事務所 Lino works

<E-mail> contact@lino-works.net

<Tel> 090-4594-9294

* お急ぎでない場合は、できるだけE-mailでのお問合せ・お申込をお願いします。

里や山や海、自然とともにたたく人々の間で育まれてきた民謡・しごと唄。人々の暮らしが変化するにつれ、しごと唄も少しずつ唄われなくなり忘れられていきました。

農村に生まれ育った私は“田植え唄”を初めて聞いたとき、なんだかとてもワクワクしました。唄の中には、私たち農に関わる人間が生活しているリズムや価値がぎゅっ！と詰まっているようで、唄が農民の根っこ部分を光で照らしてくれているように感じた。

しごと唄を、唄の本来の活躍場所である農村に持って帰ってみたい！農村で、唄が生まれた時代と同じ風景をみんなで再現して味わってみたい。…そんな思いで「田んぼでしごと唄をうたいませんか？」と、私にしごと唄の存在を教えてくださいました太鼓唄 七海さんをお誘いし、このたびワークショップが実現する運びとなりました。先行き不安な問題を多々抱えた中山間地域の小さな農村に、唄はなにか新たな風を運んでくれそうな予感がしています。

本ワークショップでは、断片的に残っている唄を手がかりに、昔ながらの農作業と唄を再現します。その手作業の農や農村で過ごす体験をベースに、唄と笛、太鼓などの楽器を交えて、季節に応じたしごと唄の“作品”をみんなで創りあげてみます。それぞれの人が田んぼや農村に向き合ってきた感覚、そこからどんなリズムや想いが立ち上がってくるのかを、ご一緒する皆さんとともに味わう、実験的な農体験&創作ワークショップです。

唄がどこから生まれてくるのだろうか？と考えると、人の営みそのもの、ではないかと思えます。そうだとしたら、それぞれの立場や環境、年齢が異なっても、同じ人同士、唄をつうじて共有できるものがあるでしょう。唄とはなにか、農とはなにか、人のくらしとはなにか、そんな根っこ部分の問いをゆるやかに共有し、これからの私たちの生き方をみつめるきっかけになることを願っています。唄と、農村と、ひととせんと、それらの関わり合いに関心を持たれる様々な人たちと、農村でのひとときを共に過ごすことを心より楽しみにお待ちしております。

環境教育事務所 Lino works 代表*仲上美和

◇ 農村にしごと唄 ワークショップ 全3回 ◇

◇ お申込み ◇

E-mailにてお申込みください。(E-mailご利用でない場合は、お電話にてお問い合わせください。)

メールの件名を「農村にしごと唄WS (あなたのお名前)」とし、下記1～10の項目をお送りください。

1. お名前
2. ご住所
3. 電話番号
4. Eメールアドレス
5. 性別
6. 参加時点での年齢 (保険加入用)
7. ご希望の移動手段
(神戸三宮・新神戸駅までの公共交通機関、または自家用車)
8. ご職業など、普段されていることは？
9. このWSを何で (どなたから) お知りになりましたか？
10. 参加に際して一言どうぞ！

E-mailでお申込みいただいた後、申込受理の旨の返信をいたします。返信のない場合はメール不着のおそれがありますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

秋の回…2015年10月1日 (木) 締切

冬の回…2016年1月28日 (木) 締切

* 先着順にて参加受付します。

* 早割特典あり！各回開催1ヶ月前までにお申込の場合、2000円/人 割引します。

◇ お問い合わせ・お申込み先 ◇

環境教育事務所 Lino works

<E-mail> contact@lino-works.net

<Tel> 090-4594-9294

* お急ぎでない場合は、できるだけE-mailでのお問合せ・お申込をお願いします。

終了 初夏*田植え唄の回

2015年6月6日(土)～7日(日)

1年間を過ごす農村に親しみ、しごと唄に初めてふれる、ことはじめの回。復田した休耕田にて、かつて農と共にあったしごと唄をうたいながら手で田植えをします。2日目は、田植えと一緒に体験した皆で田植え唄の“作品づくり”をします。田植えを応援するにぎやかな田楽法師もやってくるかも！？

秋 *いなきかけの唄の回

2015年10月10日(土)～11日(日)

実りの季節。稲刈りです。稲を束ねて干す“いなきかけ”という作業もします。作品づくりのテーマも“いなきかけ”。11日はこの地域の氏神様の大祭の日でもあります。農村のお祭りを訪ねて、五穀豊穡を共に祝いましょう。

冬 *もみすり唄の回

2016年2月6日(土)～7日(日)

春待ちの季節。田んぼの恵みをいただく、あれこれお楽しみの回。もみすり唄をうたったり、石臼で粉をひいたり、ひいた粉でお菓子を作ったり。臼のリズムを味わって唄をつくります。米麴を育てての味噌づくりも予定。3回ワークショップの締めくくりもします。



※ ワークショップあれこれ準備中！

ワークショップ及びお申込方法の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

▶▶▶ <http://lino-works.net> (環境教育事務所 Lino works)

「農村にしごと唄ワークショップPV」プロモーションビデオもあります。

▶▶▶ <https://youtu.be/PpYcuYwyinY>